

じゅこう

報恩講法要 厳修

四月十二日・十三日の二日間にわたり、当山の報恩講法要をお勤めいたしました。浄土真宗の寺院では報恩講を一番大切な法要と位置づけています。というのも、本来阿弥陀さまの願いや働きは、いつでもどこでも誰にでもです。法要はいっつ勤めても大丈夫なのですが、やはりわがくにぐな



てしまうため、仏事は身近な方のご命日を縁として勤めることがあります。報恩講は親鸞聖人を縁として、私にお念仏の教えを伝えてくださったご恩に報いていく法要なのです。お聴聞を通してお念仏の有り難さに気付かせていただきます。さて、この度のご講師には天岸浄圓先生をお迎えしました。ご讃題には「如来大悲の恩徳は、身を粉にしても報ずべし、師主知識の恩徳も、ほねをくだきても謝すべし」でした。「粉骨碎身」という言葉があります。骨を粉にし、身を砕くほどに努力をしなければならない。

第73号
(通算413号)

発行元
浄土真宗本願寺派
吉富山 浄覚寺
大阪市平野区
長吉長原3-1-10
06-6790-8350

そんな意味だと思えます。恩徳讃の内容も努力して仏法を聞かねばならないと読んでいると思いますが、実は逆なのです。私を救うために先に身を粉にし、骨を砕いてご苦労くださった阿弥陀さまのご恩に遇うと、報わすにはおられない、感謝せずにはいられないという思いで詠まれた歌だと聞かせていただきます。ご法話の中では『仏説観無量寿経』という経典の導入部でもある「王舎城の悲劇」という親子の物語を紹介し、悩み苦しみの中で生きた私たちを救う阿弥陀さまのお心をお伝えくださいました。その内容はとても紙面では書ききれませんが、YouTube「浄覚寺チャンネル」でご覧ください。



浄覚寺ヨガ教室

・5月21日(水)
10時～11時半
・参加費500円

浄覚寺雅楽教室

・5月27日(火)
19時～20時半
・参加費1000円

お知らせ

六月一日(日)に今年も「浄覚寺バザー」が開催されます。もったいないという気持ちを大切に、不要なものが必要な人の元に届くよう準備しております。

五月十日(土)と十八日(日)の十三時～十六時に遊休品の募集受付を本堂で行います。ご提供いただきますよう、ご協力をお願いいたします。もしご都合が合わないければ、ご連絡いただければいつでもお伺いいたします。



宝林宝樹微妙音

自然清和の伎楽にて

哀婉雅亮すぐれたり

清浄楽を帰命せよ

親鸞聖人『浄土和讃』



御文章に聞く(第66回)

参考文献：『御文章 ひらがな版を読む』 天岸淨圓著 本願寺出版社

一切女人章(五帖第十七通)
それ、一切の女人の身は・後生を大事におもい・仏法をとうとくおもふ心あらば、なにのようもなく・阿弥陀如来をふかくたのみまいらせて、もろもろの雑行をふりすてて・一心に後生を・御たすけ候えと・ひとのまん女人は、かならず極楽に往生すべきこと・さらに疑あるべからず、かようにおもいとてのちは・ひたすら阿弥陀如来の・やすく御たすけにあずかるべきことの、ありがたさ・またとうとさよとふかく信じて、ねてもさめても・南無阿弥陀仏・南無阿弥陀仏と・申すべきばかりなり、これを信心とりたる・念仏者とは申すものなり、
あなかしこ あなかしこ

今回も御文章(蓮如上人からのお手紙)を味わっていきたいと思います。
近頃、ご法座で耳になくなった法語の中に「後生の一大事」があるように思われます。以前は、必ずと言ってよいほど「後生」とか「後生の一大事」という言葉を耳にしましたが、最近はどうでしょうか。現代の人々にそんな言葉を使えば、かえって、浄土真宗は前近代的で、現実の苦悩から目をそらして、死後のすくいばかりを説いていると思われてしまうのかもしれない。また、そもそも「有る」か「無い」か、わからない死後に対して、「浄土」や「後生」という言葉自体が、現代人には受け入れられない、という声も聞こえてくるようです。「後生」や「浄土」という言葉は、現代人に話しても「聞いてもらえない」「受け入れられない」……。だったらもう話さなくてもよいことなのではなかろうか。それよりも、なぜ聞かれなくなったのか、その原因を解明することが大切だと思います。

仏教語辞典



比叡山十八代目で中興の祖である良源が創始者。観音菩薩に祈念して、偈文(教えが書かれた詩)を授かったことが起源となっている。また良源は角大師ともいわれ、永観二(九八四)年に疫病が流行ったときに、自らの身体を骨ばかりの鬼に変え、その姿を弟子に描かせ、お札に刷ったものを家々に退散させたといわれている。

おみくじ

『気になる仏教語辞典』
著・麻田弘潤 誠文堂新光社
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

編集後記

今月も「じゅこう」をお届けいたします。昨年四月より始まった「浄覚寺雅楽教室」が一年を無事に過ぎました。少しずつ技術は上達しており、いつの日か当山の法要でお聞きいただけることを楽しみにしております。
雅楽のお話しをもう一つ。住職は仏法の弘通とともに雅楽の伝承に力を注いでいますが、この度カナダのトロント大学とアメリカのカリフォルニア大学から招聘を受けて、天王寺舞楽のレクチャーデモンストラーションを行う機会をいただきました。皆さまにはご迷惑をおかけしますが、九月の彼岸会後より一週間渡米することになりました。

浄覚寺の公式LINEにぜひ登録ください。
デジタルで「じゅこう」をお届けします。



行事案内

日時・五月十一日(日) 十二時より
行事・河内蓮如忌法要 参拝
場所・久宝寺御坊 顕証寺
法話・塚本一真先生(佐賀)
蓮如上人ゆかりの御坊で数千枚を超える幾度の大散華は圧巻です。ぜひ一緒に参拝させていただきます。
(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)

日時・六月一日(日) 十三時〜十六時
行事・浄覚寺バザー
場所・浄覚寺 境内
皆さんからご提供いただいたバザーに加え、仏事相談コーナーや、コーヒーの無料接待、お子さまのためのお楽しみコーナーも用意しています。ぜひご来場ください。

